

## 100 世界遺産の旅 (172)

### 長崎くんち

2025 年、九州一周の旅における最大のテーマは、長崎くんちの観覧であった。長崎くんちは、諏訪神社の祭りで、10 月上旬の 3 日 3 晩、すべての長崎市民が、祭りに酔いしれるといっても過言ではない。

諏訪神社は、厄除け、縁結び、海上安全のご利益があるとされ、おくんちは、秋の大祭で、諏訪神社への奉納であり、約 400 年の歴史を誇っている。



**コッコデショ、おくんち、新婚旅行、1975 年 10 月**  
奉納踊りを披露する当番の町を踊町といい、7 つの組に分けられ、それぞれの出演は 7 年毎になる。

今回は 1975 年に観覧したので、当然 2025 年の演目とは異なるが、龍踊りだけは毎年出演している。

1975 年の想いで残る演目はコッコデショで、神輿を上下に振り動かした後、空へ向かって放り投げ、担ぎ手全員が片手で受け止める勇壮な技であった。

くんちは、九州北部の秋祭りの総称で、9 日に奉納が行われることに由来する。現在、長崎くんちは、重要無形民俗文化祭に指定されており、日本、中国、南蛮等の異国情緒豊かな踊りが奉納される。



**オランダ漫才と芸者舞、おくんち、2025 年 10 月**

2025 年最初の演目は、オランダ漫才と踊りで、ユーモアがあり、見て楽しかった。しかし奉納に座布団を敷くと失礼になるのか、太鼓、三味線、唄の芸者衆は、地べたに正座して演奏していたのは驚きだった。



**龍踊り、長崎伝統芸能振興会より、2025 年 10 月**

2025 年の観覧は、10 月 7 日であったが、朝日の直射には参った。帽子は禁止で、観客はタオルをほっかむりしていたが、我々には予備知識がなかった。

演目が終わると、係員が数名飛び出し、両手を大きく広げて「もってこい〜。」と叫ぶ。これはアンコールと拍手の催促で、観客一同が呼応して「もってこい〜！もってこい〜！」と絶叫するのである。

諏訪神社の後、奉納踊り連は、お旅所、八坂神社、中央公園くんち観覧場へと場所を移し、途中に要望があれば演じて、なにがしの礼金を受け取っていた。



**場外客、諏訪神社、2025 年 10 月**

50 年前は、予約の必要もなく、早朝出かけて立席であるが陣取り、しかも奉納舞台の近くで見ることが出来た。今回は、事前に予約し、4,500 円/人の指定席を確保したが、その枚数席は、舞台より遠く、また前方観客の頭で観覧と撮影に苦労した。

今回特別に、ウクライナより留学している長崎市内の高校に通うチュング君が、相撲部顧問と一緒に弓取式を奉納した。大相撲のウクライナ出身/安青錦の気も手伝ってか、大きな声援を貰っていた。

2025 年安青錦は、九州場所で優勝した後、長崎県諫早市の地方巡業でチュング君と面談し、そこで 2 人はウクライナの苦況も語り合ったであろう。

卷末 (3-16) 金婚旅行 九州一周  
(3-16-1) 九州一周 行程図  
(3-16-2) 高校修学旅行 今昔 5 景